

埼玉県里親会70周年記念大会「さいたまっこフェス」開催要綱

1 趣旨

こどもの虐待件数は毎年増加の一途をたどり、近年は居場所のない子ども達の問題がクローズアップされるなど、子ども達の置かれた状況は依然厳しいものがあります。

社会的養護を必要とする子どもに関しては、平成28年の児童福祉法改正、翌29年の「新しい社会的養育ビジョン」により、家庭養育の原則が法定化され、国の指針として明文化されました。それにより、養育の代替は、里親家庭やファミリーホームを最優先することと、乳児院や児童養護施設についても、家庭的な環境の中で養育することが要請されています。

そして、令和5年4月に「こども家庭庁」が創設され、『こどもまんなか社会』を目指すことが謳われています。

埼玉県においては、「埼玉県社会的養育推進計画」が策定され、今年度までに里親等委託率を32%にするとの目標が定められています。その達成は難しいですが、県は次年度から新たな計画を策定し、里親等の委託を一層推進していく方針です。

そうした中で、埼玉県里親会は、平成30年に埼玉県からフォスタリング事業の1つとして「里親しっかりサポート事業」を受託しました。それは、ピアサポートの形で、未委託から交流中、委託直後、さらに就職進学までと、様々なステージにある里親家庭を、先輩里親が支援するという事業ですが、今年で7年目を迎え、内外から厚い信頼と高い評価を受けるまでに成長しました。

そして、埼玉県里親会は創立70周年を迎えるに至りました。

創立70周年記念大会の開催により、こどもを支援する国、地方公共団体、児童相談所、里親会、その他の関係機関が一堂に会し、「こどもまんなか社会」の実現に向けて、共に歩み、協働していくことの一層の推進のための契機にしたいと考えています。

2 テーマ

「こどもまんなか社会へ共に歩む」

3 日時

2025年2月2日(日) 13時～16時

4 会場

あげお富士住建ホール(上尾市文化センター) 大ホール

5 主催

埼玉県里親会

6 後援

埼玉県・埼玉県教育委員会・埼玉県社会福祉協議会・
埼玉県民生委員児童委員協議会・埼玉県共同募金会・さいたま市・
埼玉県乳児施設協議会・埼玉県児童福祉施設協議会・全国里親会・
関東甲信越静里親協議会・さいたま市里親会・日本こども支援協会・
埼玉大学・埼玉県青年会議所・朝日新聞さいたま支局・読売新聞さいたま支局・
毎日新聞さいたま支局・産経新聞さいたま支局・埼玉新聞社・福祉新聞
テレ埼・テレビ朝日文化事業団・FM NACK5

7 参加予定者

(1) 記念式典

里親子・児童福祉関係者・行政関係者・教育関係者 他

(2) 記念イベント

里親子・協力関係機関

8 大会事務局

埼玉県里親会事務局